

2018.7.27

～
7.31まで

平成30年7月豪雨 広島 災害医療コーディネーター派遣 大森赤十字病院

広島県庁へ当院松本部長が派遣されました。

平成30年7月豪雨による被災者対応のため、7月27日～31日まで日赤災害医療コーディネーターである松本部長、他2名が広島県庁に派遣されました。

広島県内で活動する医療救護班の活動調整と他の関係機関との連携が主な役割でした。

広島県庁では、災害対応に関係する機関や団体が出席する会議に連日参加して、救護班の活動状況報告や他機関からの報告を受けて、情報収集に努めました。

県庁内での県幹部による会議にも出席し、被災状況の報告、公共機関(鉄道、道路、上下水道、電気など)の復旧状況、知事からの要請事項などの報告を受けて、県庁と情報を共有し、医療活動調整を行いました。



広島県庁医療救護班調整本部での活動

県庁5階に特設された医療調整本部では、県内で活動する医療救護班の活動調整を行いました。県の災害医療コーディネーター、県医師会、JMAT、JRAT、DPAT、日本災害看護協会、県庁職員、その他多くの関係者と協力して活動に当たりました。



広島県庁

日赤広島県支部での活動

広島県庁で集めた情報を基に局長をはじめとする県支部幹部と連日会議を行いました。今後の救護体制の方針や救護班活動についても検討しました。

特に29日は台風接近に伴い、県支部では情報収集などに追われました。幸い2次被害もなく、スタッフ一同安堵しました。



広島赤十字・原爆病院

日赤広島県支部

